

学校教育活動(学校評価)アンケートの結果報告

学校教育活動(学校評価)アンケートを令和2年12月に実施しました。今回は、記名方式のオンライン・アンケートとして実施しました。そのせいか、今回の回収率は71.6%でした。昨年に比べ回収率は20%下がりました。500人超の調査規模で70%の回収率があれば、誤差おおよそ±5%以内なので、全体の傾向はつかむことができますが、より多くの保護者の声を反映させるための「呼びかけ」等の対策が来年度は必要だと感じました。

次年度への取組については、学校だよりNo.9②に掲載しましたので、そちらもご参照ください。

1 回収率と数値の信頼性について

	質問項目数	配付数 (人)	集計数 (人)	回収率	回収率に伴うアンケート 結果の誤差
教職員	37項目	38	38	100%	なし
保護者	32項目	577	413	71.6%	±5%以内
児童	20項目	714	709	99.2%	ほぼなし
全体		1476	1379	93.4%	±2%以内

2 学校評議員による学校評価の取組自体への評価(学校評議員会議2/26実施)

評価項目	良い	おおむね良い	あまり良くない	良くない
①アンケートから情報公開までの流れについて	100%	0%	0%	0%
②評価項目の妥当性について	100%	0%	0%	0%
③評価の客観性について	100%	0%	0%	0%
④評価に基づく改善の手立てについて	100%	0%	0%	0%
⑤学校評価の情報の公開・開示について	75%	25%	0%	0%

3 集計結果の表とグラフの見方について

- 集計結果の設問の文言は、児童へのアンケートに合わせました。教職員と保護者は、それぞれの立場に読み替えてご覧ください。

(例) 児童…「学習や生活で先生にほめられる」

保護者…「お子さんは、教員からほめられたことを家で話している」

教職員…「私は、児童の良いところを見つけ、積極的にほめている」

- 1～20番までは、教職員・保護者・児童がほぼ共通の質問事項で比較できるようにしました。
- 21～32番までは、教職員・保護者がほぼ共通の質問事項で比較できるようにしました。
- 「そう思う」「大体そう思う」の合計を「ポジティブ(肯定的)回答(評価)」と表記しました。
- また、それ以外の合計を「ネガティブ(否定的)回答(評価)」と表記しました。
- 小数点第2位以下の値を表示していないため、%の合計は100%にはならない場合があります。
- また、回答母体数の関係で、少数の回答の場合は0%で表示されている場合があります。
- 「ポジティブ回答」が80%以上は、目的を概ね達成していると考えます。来年度もこのまま継続できるよう努力していきます。
- 「ポジティブ回答」が80%未満は、何らかの課題があると考えます。その課題を明らかにし、改善するよう努力していきます。
- 表やグラフの右側に、分析(考察等)を添えました。
- グラフは作業上、若干ずれている場合があります。参考程度に見てください。